

平成 30 年度 第 2 回女性活躍推進協議会情報共有会議 議事要旨

日 時 平成 30 年 10 月 24 日 (水) 15 時 00 分～17 時 00 分

場 所 横浜市庁舎 2 階 政策局会議室

出席者

委員

- 大隅委員 (横浜商工会議所)
- 湧井委員 (神奈川県経済同友会)
- 上野委員 (神奈川県中小企業家同友会)
- 青井委員 (横浜銀行協会)
- 今村委員 (横浜港振興協会)
- 野路委員 (横浜青年会議所)
- 二見委員 (神奈川県経営者協会)
- 上野委員 (神奈川県中小企業家同友会)
- アキレス委員 (横浜市男女共同参画推進担当参与)
- 川名委員 (横浜市男女共同参画推進協会)
- 齋藤委員 (横浜市政策局女性活躍・男女共同参画担当理事)

事務局

政策局男女共同参画推進課 課長 山本
担当係長 平中
職員 田村

欠席者

- 坂井委員 (横浜貿易協会)
- 芦澤委員

次 第

- 1 業界別分科会の進捗状況について
 - (1) IT 業界分科会
 - (2) 製造業界分科会
- 2 女性の就業ニーズ調査の活用について
- 3 女性活躍推進協議会の情報発信力の強化について
- 4 各団体からのお知らせ

主 な 意 見

1 業界別分科会の進捗状況について

(1) IT 業界分科会

- ・「女性のリーダーシッププログラム」参加企業は女性比率が高いのか。
⇒神奈川県情報サービス協会を通じて募集しており、本市として把握できていない。

(2) 製造業界分科会

- ・「横浜市中企業女性活躍推進助成金」はどのように活用されているのか。
⇒最も多いのは女性トイレの設置であり、基本的な環境を整える取組に活用されている。
⇒助成金活用の効果があったのか検証することは重要である。
- ・女性にもものづくり志向が無いわけではなく、もともと女性に開かれた業界でなかったため、選択肢になかなかだけである。

- ・ AI、IoTが進めば男女関係なく製造業界で仕事できるようになる。ただし、固定観念をほぐすために、企業や大学への働きかけが重要。
- ・ 製造業と言っても幅広く、職種や企業規模で事情が異なる。異なる背景をもつ企業が集まっても、意見はまとまらないのではないか。
- ・ 「分科会」という形式に拘らず、まずはヒアリング等により製造業企業の現場を知ることから始めるのが良い。
- ・ 「女性に業界に来てもらいたい」「職種によって事情が異なる」「経営者・管理職を増やしたい」という3つの課題があるが、それぞれ論点は異なる。ヒアリングの際などは、この点を整理して臨むべき。

2 女性の就業ニーズ調査の活用について

- ・ チラシは、読み手である企業にとって共感できる内容であることが重要であるが、「生産性向上＝女性活躍」は共感されない。
- ・ 人手不足の課題が急速に大きくなっており、女性のキャリアアップよりも登用推進の方が共感される。「人手不足」「働き方改革」などを全面に出して、共感を得る内容にしてはどうか。
- ・ チラシ1ページ目に、多くの企業が悩んでいる項目を3つ程提示して導入部にするが良い。
- ・ ハラスメントに関する取組状況が「3割に満たない」では、メッセージとして弱い。セクハラ・マタハラ対策が義務づけられていることも伝えるべき。
- ・ 見せ方として、グラフが語るのではなく、伝えたい内容をまず大きく示して、グラフを見なくても分かるように記述する。(グラフはエビデンスとして載せる程度)
また、棒グラフと円グラフ・帯グラフを使い分けて、内容を伝わりやすくするように。

<事務局より>

本日はいただいた意見を踏まえて、チラシ案の修正を行い、メールで協議会メンバーの皆様へ共有させていただきます。その後、随時進捗状況をメールで共有させてもらい、都度ご意見をいただきながら、第3回協議会の際には完成している状態を目指します。

3 女性活躍推進協議会の情報発信力の協会について

- ・ ホームページの位置づけはどのようなものか。
⇒横浜市ホームページ内ではなく、協議会として外部に開設するもの。
- ・ 全国的に女性活躍推進協議会のホームページは立ち上がっているのか。
⇒京都の事例があるが、全国的には少ない。
- ・ 女性活躍に関する様々な情報が集約されることは有効である。
加えてメッセージ性があると良いのでは。(例えば、協議会メンバーへのインタビュー)
- ・ 従来の協議会の活動はどちらかというとクローズだったが、地域プラットフォームとして広く情報発信していくことは望ましい。

- ・モバイル対応も検討できると良い。
- ・トップページは堅い印象ではなく、ソフトで馴染みのあるイメージが良い。

<事務局より>

協議会ホームページ立上げに関してご賛同いただきましたので、来年6月の開設を目指して、業者との調整等を始めさせていただきます。

4 各団体からのお知らせ

【神奈川県経営者協会】

次世代育成支援対策推進センター指定団体として、出張無料相談を実施している。

【横浜貿易協会】

会員向け情報誌（横浜月報）において、「女性の就業ニーズ調査」の結果を一部紹介。

会員向けの雇用に関するアンケートでは、「女性の活躍」に関心がある割合は95%にのぼる。

【横浜銀行協会】

女性役職者比率30%という目標は達成できたため、次に女性管理者比率の向上に取り組むフェーズとなっている。

【横浜青年会議所】

青年会議所の世界大会を横浜で開催することがほぼ決定。（2020年11月）

この機会に女性活躍の要素を取り入れられると良い。

【神奈川県中小企業家同友会】

かなテラスとの共催セミナーにおいて、「アンコンシャス・バイアス」をテーマとした分科会を開催予定。（応募者多数あり）

【横浜市男女共同参画推進協会】

ハラスメント防止研修について、新規で神奈川倉庫協会での実施を予定している。